

## 【黄熱ワクチンに関する説明書】

黄熱は、アフリカ及び中南米の国々で常在しています。これらの国々を黄熱リスク国と  
いいます。国によっては、入国に際し、黄熱予防接種国際証明書（イエローカード）の提  
示を要求しています。現在、世界で国際証明書を必要とする唯一のワクチンです。  
提示を要求されない国でも、黄熱リスク国と同様に一部の地域では、感染する可能性が高  
いので世界保健機関（WHO）は予防接種を推奨しています。

### ○黄熱ワクチンの成分と製造元について

- ・当製剤は、弱毒化した黄熱ウイルス（17D-204 株）を、ニワトリ胚で培養増殖後精製し、ゼラチンを含む安定剤を加え凍結乾燥した生ワクチンです。
- ・製造元は、サノフィパスツール・アメリカ社で、サノフィ株式会社が輸入後、国内で検定を行なっています。

### ○投与方法について

黄熱ワクチン液 0.5ml を上腕外側の皮下へ注射します。

### ○接種後の免疫効果について

接種後 10 日目から免疫効果があります。黄熱予防接種国際証明書は 10 日目から生涯有効です。

### ○接種後の副反応について

このワクチンは、安全性が高いと考えられています。通常、副反応はあったとしても軽度で、接種後 2～10 日前後に軽い頭痛、筋肉痛、全身倦怠感、微熱が出現する場合がありますが、日常生活に支障を来すことはまれです。

まれに重篤な副反応として以下のものがあります。

#### 1) アナフィラキシーショック

（接種直後に出現するショック：じんましん、ぜんそく様症状、呼吸困難等の症状が出ます）

#### 2) 脳炎

（20 万人に 1 人の割合で発生：脳に炎症が起こることで意識障害、麻痺等の症状が出ます）

#### 3) 熱性多臓器不全

（40 万人に 1 人で発生：接種後 2～5 日目に疲労、筋肉痛、頭痛を伴う発熱が現れ、呼吸不全、肝機能不全、腎不全等の急速な進行を特徴としています。）

### ○注意事項として

- 1) 胎児への安全性が確立されていないため、女性の方は、接種後 2 か月間は妊娠を避けるようにしてください。
- 2) 卵、ゼラチン等にアレルギーを有する場合、接種できない場合があります。

## 保護者同意書

関西空港検疫所長 殿

私は、令和 年 月 日に、\_\_\_\_\_が黄熱の予防接種を受けるにあたり、保護者として「黄熱ワクチンに関する説明書」の内容を確認しました。副反応等のことを理解した上で、上記の者への黄熱ワクチンの接種に同意・希望いたします。

令和 年 月 日

保護者

住所 \_\_\_\_\_

氏名 \_\_\_\_\_ 印

予防接種を受ける者

住所 \_\_\_\_\_

氏名 \_\_\_\_\_ 印

(本人の署名)

保護者の方へ

「黄熱ワクチンに関する説明書」をご熟読の上、黄熱ワクチン予防接種に

同意・希望される場合、署名及び捺印をお願いいたします。